江戸川区
家庭ごみ組成分析調査報告書

平 成 29年 3月

江　戸　川　区

【目　　次】

第１章　調査概要 1

１　調査目的 1
２　調査背景 1
３　調査対象地域と調査日程 1
４　調査方法 2
５　調査したごみ量 3
６　組成調査の分類と定義 3
７　注意事項 5

第２章　調査結果 6

１　組成割合 6
２　分別不適物 14
３　排出容器別のごみ重量と利用割合 17
４　反転コンテナ・角型容器１杯あたりの重量 19
５　小型家電の分析 20

第３章　食品ロスの廃棄状況 23

１　食品ロスの割合 23
２　未利用品の品目 24
３　未利用品の消費期限・賞味期限 24
４　消費期限・賞味期限と廃棄日の比較 25
５　食品ロスの年間廃棄量の推計 26

第４章　考察 27

１　過去の調査との比較 27
２　ごみ減量の可能性 30
３　今後の課題 32

第１章　調査概要

１　調査目的

本調査は、家庭から排出される燃やすごみ、燃やさないごみ、容器包装プラスチックについて組成割合を調査し、家庭ごみの性状を把握するとともに、さらなるごみ減量とリサイクル推進のための基礎資料とすることを目的としています。

日本では、まだ食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」が年間で約632万トン発生していると推計されています。本区では区民、事業者と一体となった「えどがわ食べきり推進運動」を展開していることから、本区のごみに含まれる食品ロスの実態を明らかにすることを目的としています。

２　調査背景

江戸川区では、平成20年４月から容器包装プラスチックの再資源化と埋立処分場の延命化を目的に、再生資源としてリサイクルできるプラスチックと清掃工場で熱エネルギー源として利用するプラスチックに分別を変更しました。

平成25年４月からは粗大ごみ、平成28年４月からは燃やさないごみの中から家電製品や金属類を選別して、適正に再資源化できる業者に引き渡し、鉄やアルミ、金・銀・銅などの有用金属をリサイクルする取り組みを始めました。

３　調査対象地域と調査日程

燃やすごみと容器包装プラスチックについては、経年的な変化を把握するため、過去の調査と同じ地域とし、燃やさないごみについては、前年度に引き続き葛西清掃事務所管内としました。

小岩清掃事務所管内からは一戸建て中心の地域として東小岩を、葛西清掃事務所小松川分室管内からは一戸建て・低層集合住宅混在地域として平井を、葛西清掃事務所管内からは高層集合住宅地域として南葛西を選定しました。

表 1-1　対象地域と調査日程

調査日	曜日	ごみ種	場所
11月7日	月曜日	燃やすごみ	平井1･2丁目
11月8日	火曜日	容プラ	平井1･2丁目
		燃やすごみ	東小岩2～6丁目
11月9日	水曜日	容プラ	東小岩2～6丁目
11月10日	木曜日	容プラ	南葛西5･6丁目
11月11日	金曜日	燃やすごみ	南葛西5･6丁目
11月12日	土曜日	燃やさないごみ	葛西清掃事務所管内

４　調査方法

ごみ集積所から収集したごみを葛西清掃事務所に搬入し、次の手順で調査しました。なお、事業系有料ごみ処理券が貼付してあるごみなど、明らかに事業系とわかるごみは対象から除きました。

(1) ごみを入れた容器(容量表示のある袋やレジ袋など)を種類ごとに分類し、それぞれの重量と個数を記録しました。

(2) ごみを入れた容器のまま、大規模集合住宅のごみ・資源の保管場所で使用されている反転コンテナボックス(以下「反転コンテナ」といいます。)と同じ大きさの箱に入れ、反転コンテナ１杯あたりの重量を測定しました。燃やさないごみは90リットルの角型容器で１杯あたりの重量を測定しました。

(3) ごみを表1-3に示す47種類(燃やすごみは48種類)に分類し、それぞれの重量を測定しました。

写真1-1　ごみを入れた容器の計量

写真1-2　ごみの分類

写真1-3　分類したごみの計量

５　調査したごみ量

組成調査では、燃やすごみ2,013.26kg、燃やさないごみ352.00kg、容器包装プラスチック199.50kgを調査しました。

表 1-2　サンプル量

単位(kg)

	東小岩地域	平井地域	南葛西地域	合計
燃やすごみ	639.09	701.89	672.28	2,013.26
容器包装プラスチック	69.74	67.04	62.72	199.50
	葛西清掃事務所管内			
燃やさないごみ	352.00			

６　組成調査の分類と定義

燃やすごみは、表1-3のように資源物19品目(紙類７品目、びん・缶・ペットボトル５品目、容器包装プラスチック７品目)、可燃物17品目(紙類３品目、布類１品目、生ごみ３品目、木・草類１品目、プラスチック・ゴム・皮革類７品目、その他２品目)、不燃物８品目(有害・危険物５品目、その他３品目)、外袋３品目、合計47品目に分類しました。

燃やさないごみは、「容器包装プラスチック（落とせる汚れ）」と「容器包装プラスチック（落とせない汚れ）」をひとつの分類にしたので、資源物19品目、可燃物16品目、不燃物８品目、外袋３品目、合計46品目としました。

容器包装プラスチックは、「容器包装プラスチック（落とせる汚れ）」と「容器包装プラスチック（落とせない汚れ）」をひとつの分類にし、レジ袋(中身あり)を資源物（容器包装プラスチック）に分類したので、資源物20品目、可燃物15品目、不燃物８品目、外袋３品目、合計46品目としました。

外袋とは、ごみを排出するために使用した袋のことです。

表 1-3　組成調査の分類

分類		品目	注意点・含むもの	含まないもの
資源物	紙類	新聞（きれいな状態）	他用途に使ってない新聞紙	新聞に入る広告・チラシ→折込広告
		折込広告	新聞に入る広告・チラシ	ポスト投込のチラシ→その他紙類（リサイクル可）
		雑誌・本	パンフレット、カタログ（４Ｐ以上のもの）	
		段ボール	断面が段々になっている	ボール紙→その他紙類（リサイクル可）
		紙パック	１リットルの牛乳・ジュースの紙パック	口がプラの酒パック→容器包装紙類（リサイクル不可）
		容器包装紙類（リサイクル可）	（紙だけの）包装紙、紙箱、紙袋、紙容器、１リットル以外の山型の紙パック	汚れているもの、プラ・アルミのコーティングあり→容器包装紙類（リサイクル不可）
		その他紙類（リサイクル可）	（きれいな）投げ込みのチラシ、ＯＡ用紙、ノート、ボール紙、封筒、はがき	汚れたもの、はがきより小さいもの→その他紙類（リサイクル不可）
	ペットボトル・びん・缶	リターナブルびん	一升びん、ビールびん（大中小、スタイニーボトル）	
		ワンウェイびん	一升以外の酒、ワイン、ジュース、ジャムのびん	食用・飲用以外のびん（化粧品等）、油のびん→その他不燃物
		飲用・食用スチール缶	ペットフードの缶含む	飲用・食用以外の缶、油の缶、一斗缶より大きい缶→その他金属
		飲用・食用アルミ缶	ペットフードの缶含む	飲用・食用以外の缶、油の缶、一斗缶より大きい缶→その他金属
		ペットボトル	「ＰＥＴ」表示あり、飲料、醤油等のみ	「ＰＥＴ」表示なし、飲料・食用以外→ボトル容器
	容器包装プラスチック	食品トレイ	スーパーなどで肉や魚、野菜がのっているトレイ	納豆パック→カップ・パック容器
		ボトル容器	シャンプー、洗剤	
		カップ・パック容器	弁当ガラ、苺のパック、乳酸飲料容器、ヨーグルト、プリン、カップ麺、豆腐容器	
		レジ袋（中身なし）	レジ袋で利用されずに出されているもの	
		キャップ類	ペットボトルやインスタントコーヒーのふた	
		フィルム容器	透明なお菓子の袋、野菜の袋、ペットボトルの外装	
		保護材	発泡スチロール、果物の緩衝材など各種緩衝材・保護材	
可燃物	紙類	新聞（汚れた状態）	ごみを包む、何かを拭くなどに使った新聞紙	
		容器包装紙類（リサイクル不可）	カップ麺の紙容器・フタ、紙トレイ、紙カップ、200mlなどの四角い紙パック、口がプラの酒パック	
		その他紙類（リサイクル不可）	紙おむつ、カーボン紙、紙くず、ちり紙、伝票・レシート、カーボン紙	
	布類	布類		
	生ごみ	生ごみ（未利用品）	未開封（賞味・消費期限切れ）の食品、手つかずの食品	
		生ごみ（使い残し）	開封して使い残した食品、切った野菜・果物	
		生ごみ（厨芥類）	調理くず、野菜くず、食べ残し	
	木・草類	木・草類	割り箸、竹串、コルク、庭木・落ち葉・草、生花	
	プラスチック・ゴム・皮革類	チューブ容器	マヨネーズ、歯磨き	
		レジ袋（中身あり）(注1)	ごみの小袋（内袋）として利用されているもの	
		容器包装プラスチック（アルミ蒸着）	ポテトチップスの袋、カップ麺のフタ、錠剤の包装、レトルトパックなど銀色のもの	
		容器包装プラスチック(注2)(落とせる汚れ:燃やすごみ)	水でさっと流しただけで落とせそうなもの	
		容器包装プラスチック(注2)(落とせない汚れ:燃やすごみ)	水でさっと流しただけでは落とせそうもないもの	
		製品プラスチック類	歯ブラシ、おもちゃ、バケツ、ビデオテープ、レースのカーテン	金属との複合物→その他不燃物
		ゴム・皮革類		ビニール製靴・バッグ→製品プラスチック類

分類		品目	注意点・含むもの	含まないもの
可燃物	その他可燃物	医療系		
		その他可燃物	タバコの吸殻、油を固めたもの、掃除機のごみ、脱脂綿、ガーゼ、包帯、生理用品、猫砂、ぬいぐるみ、枕、カーテン、足拭きマット、インクリボン・カートリッジ、乾燥剤、クレヨン、湿布薬	
不燃物	有害・危険物	スプレー缶等	スプレー缶、コンロ用カセットボンベ	
		乾電池		
		蛍光管		
		ライター		
		水銀含有物		
	その他不燃物	その他金属	飲用・食用以外の缶（スプレー、塗料、オイル）、一斗缶より大きい缶、アルミホイル、なべ	
		小型家電	アイロン、電気炊飯器、ポット、トースターなど30センチ未満の小型家電	30センチ以上の粗大ごみ→調査対象外
		その他不燃物	飲用・食用以外のびん（化粧品等）、びん以外のガラス、電球、使い捨てカイロ、土石､かさ、複合品、薬	30センチ以上の粗大ごみ→調査対象外
外袋（注3）		プラスチック袋	推奨袋、透明・半透明・不透明袋	
		レジ袋		
		紙袋		

（注１）レジ袋（中身あり）は、燃やすごみと燃やさないごみでは可燃物（分類）、容器包装プラスチックでは容器包装プラスチック（分類）として集計します。
（注２）燃やすごみでは、水でさっと流して「落とせる汚れ」と「落とせない汚れ」に分類します。
（注３）外袋とは、ごみを排出するために使用されていた袋のことです。

容器包装プラスチックについては、きれいなものと汚れているものに分類し、汚れているものは可燃物として分類しました。

表 1-4　容器包装プラスチックの汚れの基準

水でさっと流して汚れが落とせるもの	
	醤油・ケチャップなどの水溶性のものが付着したもの
	のり、フライかすなどの粉状・固形状のものが付着したもの
	お茶殻など、他のごみが付着したもの
	ヨーグルトが付着したもの
水でさっと流して汚れが落とせないもの	
	カップ焼きそばなどのソースが付着したもの
	油・カレー・ドレッシングなど油性のものが付着したもの
	のりの佃煮やみたらし団子のたれのような粘着性のあるものが付着したもの
	味噌、納豆、マーガリン、バターが付着したもの
	カレーの色が付着したカップラーメンの容器
	紅ショウガや漬け物などが入ったフィルム状のもの
	蒲焼きのたれ、ソース、醤油などが付着した小さなフィルム状のもの
	肉汁が染みついたラップ

7　注意事項

報告書中の合算値は、四捨五入の関係上、合計値と一致しないものがあります。表の中で「0.0」と表示されているところは、表示されている桁数より小さい値がある場合を表しています。表中の「－」は全く排出されていなかったことを表しています。

第２章　調査結果

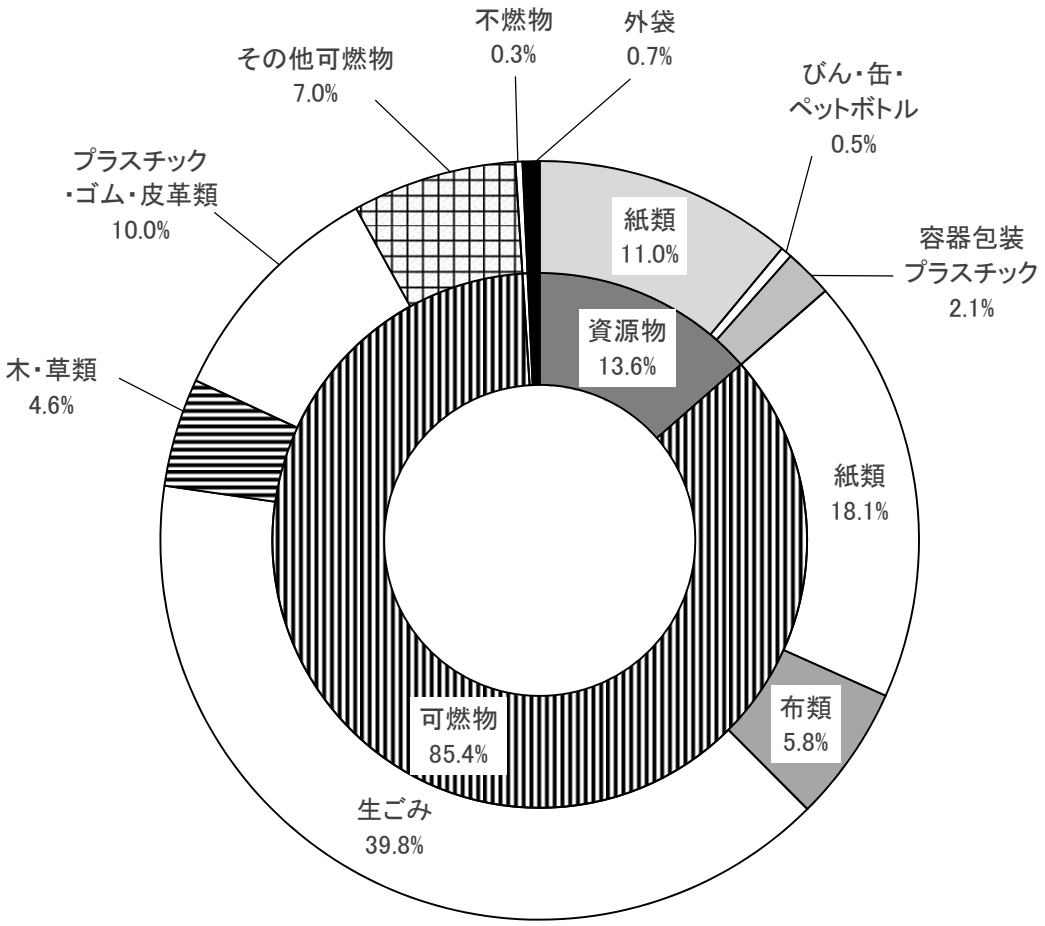
１　組成割合

(1) 燃やすごみ

燃やすごみでは、可燃物が85.4％、資源物が13.6％、不燃物が0.3％、外袋が0.7％となっています。分別が適正なものは、可燃物と外袋で合計86.1％、不適正なものは資源物と不燃物で13.9％です。

可燃物の内訳は、生ごみが39.8％で最も多く、次いで、紙類が18.1％、プラスチック・ゴム・皮革類が10.0％、布類が5.8％、木・草類が4.6％、その他可燃物が7.0％です。

図 2-1　燃やすごみの組成割合



(注)構成比(%)の合算値は四捨五入の関係上100%にならないことがあります。

表 2-1　燃やすごみの組成重量

単位(kg)

大分類	中分類	小分類	東小岩	平井	南葛西	合計
資源物	紙類	新聞（きれいな状態）	2.32	5.96	7.16	15.44
		折込広告	1.69	4.86	3.36	9.91
		雑誌・本	14.04	28.35	8.95	51.34
		段ボール	4.89	6.00	4.34	15.23
		紙パック	2.13	2.23	2.64	7.00
		容器包装紙類（リサイクル可）	13.29	20.61	20.58	54.48
		その他紙類（リサイクル可）	22.45	21.67	24.42	68.54
	びん・缶・ペットボトル	リターナブルびん	－	－	－	－
		ワンウェイびん	0.06	0.68	1.32	2.06
		飲用・食用スチール缶	0.04	－	0.33	0.37
		飲用・食用アルミ缶	0.03	0.28	0.39	0.70
		ペットボトル	1.56	1.90	3.27	6.73
	容器包装プラスチック	食品トレイ	1.08	1.37	2.53	4.98
		ボトル容器	1.10	1.56	2.25	4.91
		カップ・パック容器	3.50	2.24	3.09	8.83
		レジ袋（中身なし）	1.22	3.90	1.28	6.40
		キャップ類	0.40	0.25	0.37	1.02
		フィルム容器	4.56	3.68	6.03	14.27
		保護材	0.38	0.38	0.27	1.03
可燃物	紙類	新聞（汚れた状態）	3.62	4.76	2.88	11.26
		容器包装紙類（リサイクル不可）	5.60	6.43	5.96	17.99
		その他紙類（リサイクル不可）	100.95	108.66	126.51	336.12
	布類		58.75	33.01	25.17	116.93
	生ごみ	生ごみ（未利用品）	6.73	10.89	5.12	22.74
		生ごみ（使い残し）	6.17	8.14	6.95	21.26
		生ごみ（厨芥類）	242.75	250.69	263.36	756.80
	木・草類		25.79	45.71	21.51	93.01
	プラスチック・ゴム・皮革類	チューブ容器	0.65	0.74	1.35	2.74
		レジ袋（中身あり）	3.52	3.74	2.92	10.18
		容器包装プラスチック（アルミ蒸着）	3.88	4.64	3.80	12.32
		容器包装プラスチック（落とせる汚れ）	20.59	20.24	31.53	72.36
		容器包装プラスチック（落とせない汚れ）	8.77	14.07	9.00	31.84
		製品プラスチック類	13.17	18.28	16.25	47.70
		ゴム・皮革類	2.68	16.45	5.74	24.87
	その他可燃物	医療系	－	－	－	－
		その他可燃物	56.32	41.47	43.37	141.16
不燃物	有害・危険物	スプレー缶等	－	0.08	0.19	0.27
		乾電池	0.02	0.12	－	0.14
		蛍光管	－	－	－	－
		ライター	－	－	0.06	0.06
		水銀含有物	－	－	－	－
	その他不燃物	小型家電	0.05	0.93	0.12	1.10
		その他金属	0.35	2.08	1.45	3.88
		その他不燃物	－	0.25	0.41	0.66
外袋		プラスチック袋	1.99	3.08	3.29	8.36
		レジ袋	1.72	1.36	1.93	5.01
		紙袋	0.28	0.15	0.83	1.26
合計			639.09	701.89	672.28	2,013.26

資源物(紙類)	60.81	89.68	71.45	221.94
資源物(びん・缶・ペットボトル)	1.69	2.86	5.31	9.86
資源物(容器包装プラスチック)	12.24	13.38	15.82	41.44
可燃物	559.94	587.92	571.42	1,719.28
不燃物	0.42	3.46	2.23	6.11
外袋	3.99	4.59	6.05	14.63

(注)各項目の合算値は四捨五入の関係上、合計値と合わないことがあります。

表 2-2　燃やすごみの組成割合

大分類	中分類	小分類	東小岩	平井	南葛西	合計
資源物	紙類	新聞（きれいな状態）	0.4%	0.8%	1.1%	0.8%
		折込広告	0.3%	0.7%	0.5%	0.5%
		雑誌・本	2.2%	4.0%	1.3%	2.6%
		段ボール	0.8%	0.9%	0.6%	0.8%
		紙パック	0.3%	0.3%	0.4%	0.3%
		容器包装紙類（リサイクル可）	2.1%	2.9%	3.1%	2.7%
		その他紙類（リサイクル可）	3.5%	3.1%	3.6%	3.4%
	びん・缶・ペットボトル	リターナブルびん	－	－	－	－
		ワンウェイびん	0.0%	0.1%	0.2%	0.1%
		飲用・食用スチール缶	0.0%	－	0.0%	0.0%
		飲用・食用アルミ缶	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%
		ペットボトル	0.2%	0.3%	0.5%	0.3%
	容器包装プラスチック	食品トレイ	0.2%	0.2%	0.4%	0.2%
		ボトル容器	0.2%	0.2%	0.3%	0.2%
		カップ・パック容器	0.5%	0.3%	0.5%	0.4%
		レジ袋（中身なし）	0.2%	0.6%	0.2%	0.3%
		キャップ類	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%
		フィルム容器	0.7%	0.5%	0.9%	0.7%
		保護材	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%
可燃物	紙類	新聞（汚れた状態）	0.6%	0.7%	0.4%	0.6%
		容器包装紙類（リサイクル不可）	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%
		その他紙類（リサイクル不可）	15.8%	15.5%	18.8%	16.7%
	布類		9.2%	4.7%	3.7%	5.8%
	生ごみ	生ごみ（未利用品）	1.1%	1.6%	0.8%	1.1%
		生ごみ（使い残し）	1.0%	1.2%	1.0%	1.1%
		生ごみ（厨芥類）	38.0%	35.7%	39.2%	37.6%
	木・草類		4.0%	6.5%	3.2%	4.6%
	プラスチック・ゴム・皮革類	チューブ容器	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%
		レジ袋（中身あり）	0.6%	0.5%	0.4%	0.5%
		容器包装プラスチック（アルミ蒸着）	0.6%	0.7%	0.6%	0.6%
		容器包装プラスチック（落とせる汚れ）	3.2%	2.9%	4.7%	3.6%
		容器包装プラスチック（落とせない汚れ）	1.4%	2.0%	1.3%	1.6%
		製品プラスチック類	2.1%	2.6%	2.4%	2.4%
		ゴム・皮革類	0.4%	2.3%	0.9%	1.2%
	その他可燃物	医療系	－	－	－	－
		その他可燃物	8.8%	5.9%	6.5%	7.0%
不燃物	有害・危険物	スプレー缶等	－	0.0%	0.0%	0.0%
		乾電池	0.0%	0.0%	－	0.0%
		蛍光管	－	－	－	－
		ライター	－	－	0.0%	0.0%
		水銀含有物	－	－	－	－
	その他不燃物	小型家電	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%
		その他金属	0.1%	0.3%	0.2%	0.2%
		その他不燃物	－	0.0%	0.1%	0.0%
外袋		プラスチック袋	0.3%	0.4%	0.5%	0.4%
		レジ袋	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%
		紙袋	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%
合計			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

資源物（紙類）	9.5%	12.8%	10.6%	11.0%
資源物（びん・缶・ペットボトル）	0.3%	0.4%	0.8%	0.5%
資源物（容器包装プラスチック）	1.9%	1.9%	2.4%	2.1%
可燃物	87.6%	83.8%	85.0%	85.4%
不燃物	0.1%	0.5%	0.3%	0.3%
外袋	0.6%	0.7%	0.9%	0.7%

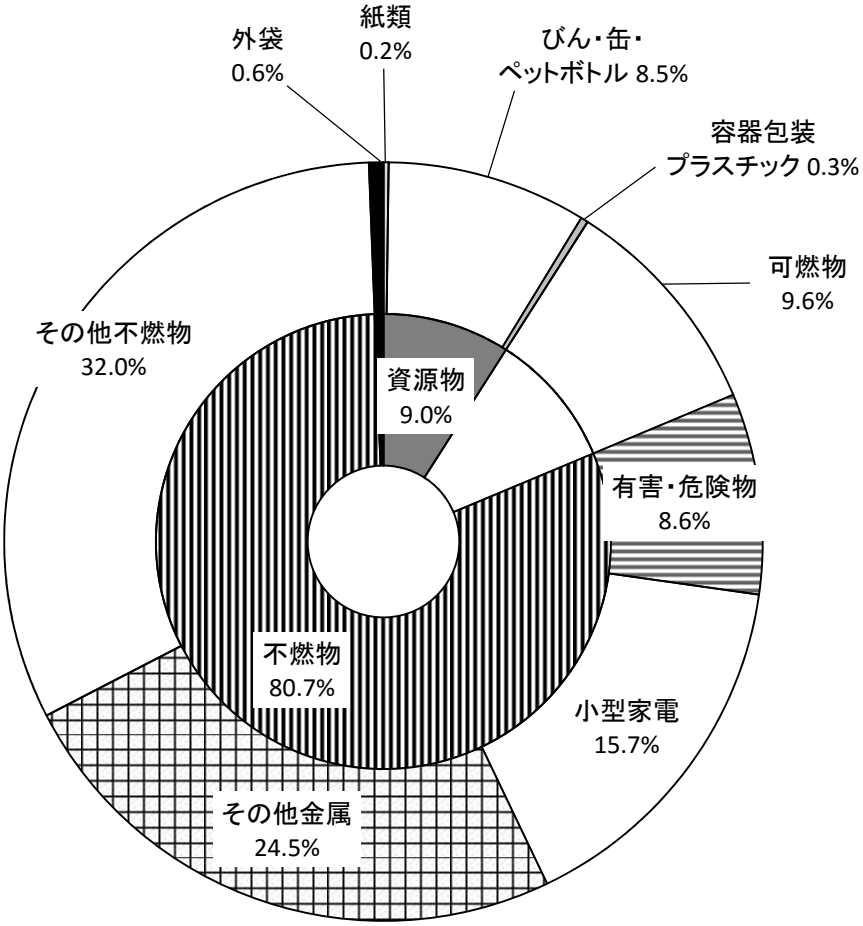
（注）構成比（%）の合算値は四捨五入の関係上、100%にならないことがあります。

(2) 燃やさないごみ

燃やさないごみでは、不燃物が80.7%、資源物が9.0%、可燃物が9.6%、外袋が0.6%となっています。分別が適正なものは、不燃物と外袋で合計81.3%、不適正なものは資源物と可燃物で18.7%です。

不燃物の内訳は、その他金属が24.5%、小型家電が15.7%、有害・危険物が8.6%、その他不燃物が32.0%です。

図 2-2　燃やさないごみの組成割合



(注) 構成比(%)の合算値は四捨五入の関係上100%にならないことがあります。

表 2-3　燃やさないごみの組成重量と割合

大分類	中分類	小分類	ごみ量(kg)	割合
資源物	紙類	新聞（きれいな状態）	－	－
		折込広告	0.02	0.0%
		雑誌・本	－	－
		段ボール	0.47	0.1%
		紙パック	－	－
		容器包装紙類（リサイクル可）	0.25	0.1%
		その他紙類（リサイクル可）	0.03	0.0%
	びん・缶・ペットボトル	リターナブルびん	0.95	0.3%
		ワンウェイびん	21.74	6.2%
		飲用・食用スチール缶	5.99	1.7%
		飲用・食用アルミ缶	1.05	0.3%
		ペットボトル	0.26	0.1%
	容器包装プラスチック	食品トレイ	－	－
		ボトル容器	0.62	0.2%
		カップ・パック容器	0.10	0.0%
		レジ袋（中身なし）	0.15	0.0%
		キャップ類	0.04	0.0%
		フィルム容器	0.17	0.0%
		保護材	0.01	0.0%
可燃物	紙類	新聞（汚れた状態）	1.19	0.3%
		容器包装紙類（リサイクル不可）	0.06	0.0%
		その他紙類（リサイクル不可）	1.39	0.4%
	布類		－	－
	生ごみ	生ごみ（未利用品）	0.22	0.1%
		生ごみ（使い残し）	0.85	0.2%
		生ごみ（厨芥類）	0.67	0.2%
	木・草類		0.78	0.2%
	プラスチック・ゴム・皮革類	チューブ容器	0.09	0.0%
		レジ袋（中身あり）	0.56	0.2%
		容器包装プラスチック（アルミ蒸着）	0.45	0.1%
		容器包装プラスチック（汚れた状態）	0.46	0.1%
		製品プラスチック類	18.98	5.4%
		ゴム・皮革類	7.23	2.1%
	その他可燃物	医療系	－	－
		その他可燃物	0.97	0.3%
不燃物	有害・危険物	スプレー缶等	16.04	4.6%
		乾電池	10.62	3.0%
		蛍光管	2.52	0.7%
		ライター	0.95	0.3%
		水銀含有物	－	－
	その他不燃物	小型家電	55.13	15.7%
		その他金属	86.29	24.5%
		その他不燃物	112.53	32.0%
外袋		プラスチック袋	0.72	0.2%
		レジ袋	1.45	0.4%
		紙袋	－	－
合計			352.00	100.0%

資源物(紙類)	0.77	0.2%
資源物(びん・缶・ペットボトル)	29.99	8.5%
資源物(容器包装プラスチック)	1.09	0.3%
可燃物	33.90	9.6%
不燃物	284.08	80.7%
外袋	2.17	0.6%

(注)各項目の合算値は四捨五入の関係上、合計値と合わないことがあります。

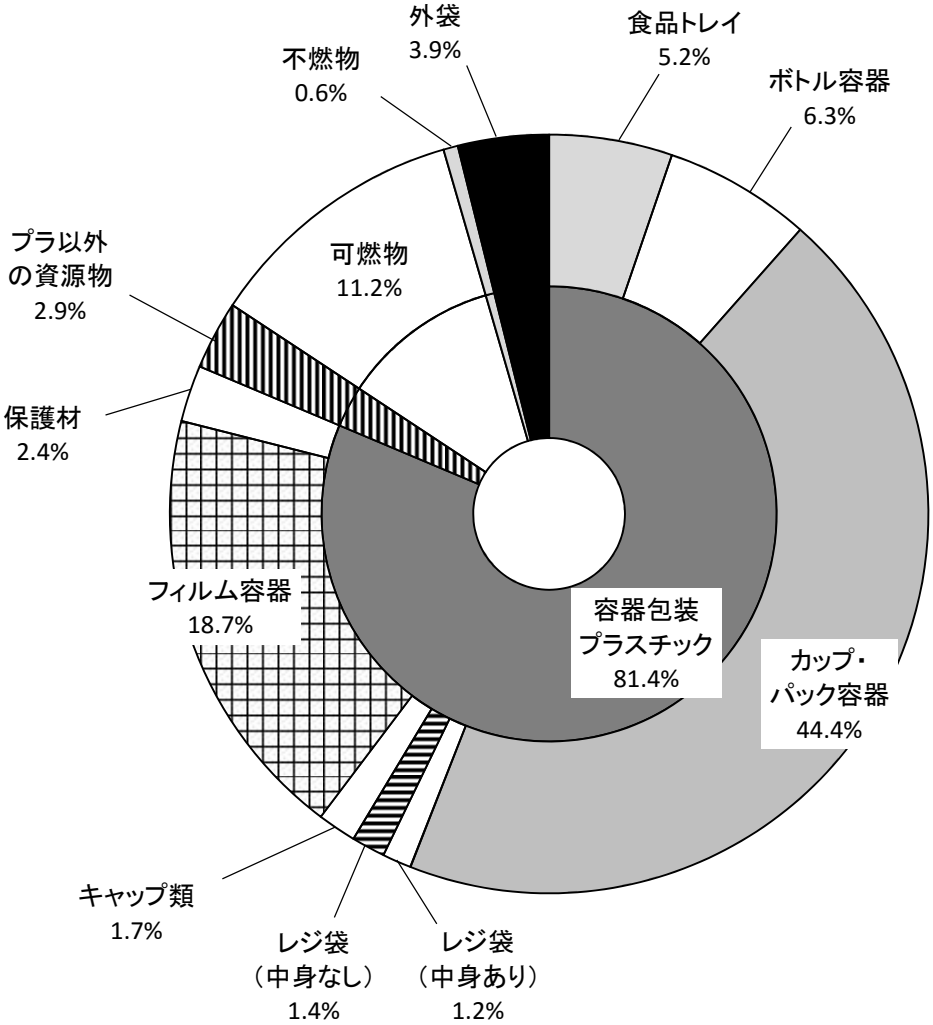
大分類	中分類	合計	合計
資源	紙類	0.77	0.2%
	びん・缶・ペットボトル	29.99	8.5%
	容器包装プラスチック	1.09	0.3%
	小計	31.85	9.0%

(3) 容器包装プラスチック

容器包装プラスチックでは、容器包装プラスチックが81.4%、容器包装プラスチック以外の資源物が2.9%、可燃物が11.2%、不燃物が0.6%、外袋が3.9%となっています。分別が適正なものは、容器包装プラスチックと外袋で合計85.2%、不適正なものは容器包装プラスチック以外の資源物と可燃物と不燃物で14.8%です。

容器包装プラスチックの内訳は、カップ・パック容器が44.4%、フィルム容器が18.7%、ボトル容器が6.3%、食品トレイが5.2%などの順です。

図 2-3　容器包装プラスチックの組成割合



（注）構成比（%）の合算値は四捨五入の関係上100%にならないことがあります。

表 2-4　容器包装プラスチックの組成重量

単位(kg)

大分類	中分類	小分類	東小岩	平井	南葛西	合計
資源物	紙類	新聞（きれいな状態）	－	－	－	－
		折込広告	－	－	－	－
		雑誌・本	－	－	－	－
		段ボール	0.18	－	－	0.18
		紙パック	0.10	0.05	－	0.15
		容器包装紙類（リサイクル可）	0.03	－	0.03	0.06
		その他紙類（リサイクル可）	0.14	0.01	0.01	0.16
	びん・缶・ペットボトル	リターナブルびん	－	－	－	－
		ワンウェイびん	0.05	0.23	0.41	0.69
		飲用・食用スチール缶	－	0.03	0.04	0.07
		飲用・食用アルミ缶	0.06	0.04	0.27	0.37
		ペットボトル	0.35	0.83	2.97	4.15
	容器包装プラスチック	食品トレイ	3.65	3.81	3.01	10.47
		ボトル容器	4.44	4.72	3.35	12.51
		カップ・パック容器	31.89	29.35	27.42	88.66
		レジ袋（中身あり）	1.06	0.74	0.67	2.47
		レジ袋（中身なし）	0.85	1.22	0.79	2.86
		キャップ類	1.81	0.84	0.65	3.30
		フィルム容器	13.00	12.24	11.97	37.21
		保護材	1.67	2.31	0.84	4.82
可燃物	紙類	新聞（汚れた状態）	－	－	－	－
		容器包装紙類（リサイクル不可）	0.54	0.36	0.16	1.06
		その他紙類（リサイクル不可）	0.09	0.06	0.39	0.54
	布類		－	－	－	－
	生ごみ	生ごみ（未利用品）	－	0.13	－	0.13
		生ごみ（使い残し）	－	－	－	－
		生ごみ（厨芥類）	0.25	0.48	0.03	0.76
	木・草類		0.07	0.02	0.08	0.17
	プラスチック・ゴム・皮革類	チューブ容器	0.29	0.36	0.71	1.36
		容器包装プラスチック（アルミ蒸着）	1.62	1.91	1.77	5.30
		容器包装プラスチック（汚れた状態）	1.93	1.53	1.62	5.08
		製品プラスチック類	2.34	2.81	2.00	7.15
		ゴム・皮革類	0.01	－	0.14	0.15
	その他可燃物	医療系	－	－	－	－
		その他可燃物	0.39	0.03	0.29	0.71
不燃物	有害・危険物	スプレー缶等	－	－	－	－
		乾電池	－	－	0.04	0.04
		蛍光管	－	－	－	－
		ライター	－	－	0.02	0.02
		水銀含有物	－	－	－	－
	その他不燃物	小型家電	0.15	－	－	0.15
		その他金属	0.06	0.10	0.07	0.23
		その他不燃物	－	0.13	0.66	0.79
外袋		プラスチック袋	0.89	1.08	0.97	2.94
		レジ袋	1.83	1.62	1.34	4.79
		紙袋	－	－	－	－
合計			69.74	67.04	62.72	199.50

資源物(紙類)	0.45	0.06	0.04	0.55
資源物(びん・缶・ペットボトル)	0.46	1.13	3.69	5.28
資源物(容器包装プラスチック)	58.37	55.23	48.70	162.30
可燃物	7.53	7.69	7.19	22.41
不燃物	0.21	0.23	0.79	1.23
外袋	2.72	2.70	2.31	7.73

(注)各項目の合算値は四捨五入の関係上、合計値と合わないことがあります。

表 2-5　容器包装プラスチックの組成割合

大分類	中分類	小分類	東小岩	平井	南葛西	合計
資源物	紙類	新聞（きれいな状態）	－	－	－	－
		折込広告	－	－	－	－
		雑誌・本	－	－	－	－
		段ボール	0.3%	－	－	0.1%
		紙パック	0.1%	0.1%	－	0.1%
		容器包装紙類（リサイクル可）	0.0%	－	0.0%	0.0%
		その他紙類（リサイクル可）	0.2%	0.0%	0.0%	0.1%
	びん・缶・ペットボトル	リターナブルびん	－	－	－	－
		ワンウェイびん	0.1%	0.3%	0.7%	0.3%
		飲用・食用スチール缶	－	0.0%	0.1%	0.0%
		飲用・食用アルミ缶	0.1%	0.1%	0.4%	0.2%
		ペットボトル	0.5%	1.2%	4.7%	2.1%
	容器包装プラスチック	食品トレイ	5.2%	5.7%	4.8%	5.2%
		ボトル容器	6.4%	7.0%	5.3%	6.3%
		カップ・パック容器	45.7%	43.8%	43.7%	44.4%
		レジ袋（中身あり）	1.5%	1.1%	1.1%	1.2%
		レジ袋（中身なし）	1.2%	1.8%	1.3%	1.4%
		キャップ類	2.6%	1.3%	1.0%	1.7%
		フィルム容器	18.6%	18.3%	19.1%	18.7%
		保護材	2.4%	3.4%	1.3%	2.4%
可燃物	紙類	新聞（汚れた状態）	－	－	－	－
		容器包装紙類（リサイクル不可）	0.8%	0.5%	0.3%	0.5%
		その他紙類（リサイクル不可）	0.1%	0.1%	0.6%	0.3%
	布類		－	－	－	－
	生ごみ	生ごみ（未利用品）	－	0.2%	－	0.1%
		生ごみ（使い残し）	－	－	－	－
		生ごみ（厨芥類）	0.4%	0.7%	0.0%	0.4%
	木・草類		0.1%	0.0%	0.1%	0.1%
	プラスチック・ゴム・皮革類	チューブ容器	0.4%	0.5%	1.1%	0.7%
		容器包装プラスチック（アルミ蒸着）	2.3%	2.8%	2.8%	2.7%
		容器包装プラスチック（汚れた状態）	2.8%	2.3%	2.6%	2.5%
		製品プラスチック類	3.4%	4.2%	3.2%	3.6%
		ゴム・皮革類	0.0%	－	0.2%	0.1%
	その他可燃物	医療系	－	－	－	－
		その他可燃物	0.6%	0.0%	0.5%	0.4%
不燃物	有害・危険物	スプレー缶等	－	－	－	－
		乾電池	－	－	0.1%	0.0%
		蛍光管	－	－	－	－
		ライター	－	－	0.0%	0.0%
		水銀含有物	－	－	－	－
	その他不燃物	小型家電	0.2%	－	－	0.1%
		その他金属	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
		その他不燃物	－	0.2%	1.1%	0.4%
外袋		プラスチック袋	1.3%	1.6%	1.5%	1.5%
		レジ袋	2.6%	2.4%	2.1%	2.4%
		紙袋	－	－	－	－
合計			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

資源物(紙類)	0.6%	0.1%	0.1%	0.3%
資源物(びん・缶・ペットボトル)	0.7%	1.7%	5.9%	2.6%
資源物(容器包装プラスチック)	83.7%	82.4%	77.6%	81.4%
可燃物	10.8%	11.5%	11.5%	11.2%
不燃物	0.3%	0.3%	1.3%	0.6%
外袋	3.9%	4.0%	3.7%	3.9%

(注)構成比(%)の合算値は四捨五入の関係上、100%にならないことがあります。

２　分別不適物

(1) 燃やすごみ

分別不適物の割合は13.9%、内訳は資源物(紙類)が11.0%、資源物(びん・缶・ペットボトル)が0.5%、資源物(容器包装プラスチック)が2.1%、不燃物(その他)が0.3%です。

資源物(紙類)の内訳は、その他紙類(リサイクル可)が3.4%で最も多く、次いで、容器包装紙類(リサイクル可)が2.7%、雑・本が2.6%、新聞(きれいな状態)が0.8%、段ボールが0.8%、折込広告が0.5%、紙パックが0.3%の順です。

表 2-6　燃やすごみの分別不適物

品目		割合
資源物（紙類）		11.0%
	その他紙類（リサイクル可）	3.4%
	容器包装紙類（リサイクル可）	2.7%
	雑誌・本	2.6%
	新聞（きれいな状態）	0.8%
	段ボール	0.8%
	折込広告	0.5%
	紙パック	0.3%
資源物（びん・缶･ペットボトル）		0.5%
資源物(容器包装プラスチック)		2.1%
不燃物(有害・危険物)		0.0%
不燃物(その他)		0.3%
合計		13.9%

(注)割合(%)の合算値は四捨五入の関係上、
合計値と合わないことがあります。

(2)燃やさないごみ

分別不適物の割合は18.7%、内訳は資源物(紙類)が0.2%、資源物(びん・缶・ペットボトル)が8.5%、資源物(容器包装プラスチック)が0.3%、可燃物が9.6%です。

資源物(びん・缶・ペットボトル)は、ワンウェイびんが6.2%、飲用・食用スチール缶が1.7%、飲用・食用アルミ缶が0.3%、リターナブルびんが0.3%、ペットボトルが0.1%の順です。

表 2-7　燃やさないごみの分別不適物

品目		割合
資源物（紙類）		0.2%
資源物（びん・缶･ペットボトル）		8.5%
	ワンウェイびん	6.2%
	飲用・食用スチール缶	1.7%
	飲用・食用アルミ缶	0.3%
	リターナブルびん	0.3%
	ペットボトル	0.1%
資源物(容器包装プラスチック)		0.3%
可燃物		9.6%
合計		18.7%

(注)割合(%)の合算値は四捨五入の関係上、
合計値と合わないことがあります。

(3)容器包装プラスチック

分別不適物の割合は14.8%、内訳は資源物(紙類)が0.3%、資源物(びん・缶・ペットボトル)が2.6%、可燃物が11.2%、不燃物(その他)が0.6%です。

資源物(びん・缶・ペットボトル)は、ペットボトルが2.1%を占めています。可燃物は、製品プラスチック類が3.6%、容器包装プラスチック(アルミ蒸着)が2.7%、容器包装プラスチック(汚れた状態)が2.5%などの順です。

表 2-8　容器包装プラスチックの分別不適物

品目		割合
資源物（紙類）		0.3%
資源物（びん・缶･ペットボトル）		2.6%
	ペットボトル	2.1%
	ワンウェイびん	0.3%
	飲用・食用アルミ缶	0.2%
	飲用・食用スチール缶	0.0%
	リターナブルびん	―
可燃物		11.2%
	製品プラスチック類	3.6%
	容器包装プラ（アルミ蒸着）	2.7%
	容器包装プラ（汚れた状態）	2.5%
	その他	2.4%
不燃物(有害・危険物)		0.0%
不燃物(その他)		0.6%
合計		14.8%

(注)割合(%)の合算値は四捨五入の関係上、
合計値と合わないことがあります。

３　排出容器別のごみ重量と利用割合

(1) 燃やすごみ

燃やすごみの排出容器の平均重量は2.23kgで、容量表示のある袋が3.47kg、レジ袋が1.13kg、透明・半透明袋が3.23kg、紙袋が2.88kgです。利用割合は、個数ベースで容量表示のある袋が17.0%、レジ袋が49.7%、透明・半透明袋が32.3%、紙袋が1.0%、重量ベースで容量表示のある袋が26.5%、レジ袋が25.3%、透明・半透明袋が46.9%、紙袋が1.3%です。

表 2-9　燃やすごみの排出容器別のごみ重量と利用割合

		個数		重量		容器１個あたりの重量(kg/個)
		個数	割合	重量(kg)	割合	
容量表示のある袋	20ﾘｯﾄﾙ	1	0.1%	1.23	0.1%	1.23
	30ﾘｯﾄﾙ	15	1.7%	33.87	1.7%	2.26
	45ﾘｯﾄﾙ	125	13.8%	429.14	21.3%	3.43
	70ﾘｯﾄﾙ	11	1.2%	58.74	2.9%	5.34
	90ﾘｯﾄﾙ	2	0.2%	12.00	0.6%	6.00
	小計	154	17.0%	534.98	26.5%	3.47
レジ袋		451	49.7%	511.58	25.3%	1.13
透明・半透明袋		293	32.3%	946.25	46.9%	3.23
紙袋		9	1.0%	25.92	1.3%	2.88
合計		907	100.0%	2,018.73	100.0%	2.23

(注)各項目の合算値は四捨五入の関係上、合計値と合わないことがあります。
排出容器の平均重量は、バラで排出されたものは除いて算定しています。

(2) 燃やさないごみ

燃やさないごみの排出容器の平均重量は3.60kgで、容量表示のある袋が6.94kg、レジ袋が2.89kg、透明・半透明袋が3.92kg、麻袋が4.27kgです。利用割合は、個数ベースで容量表示のある袋が10.7%、レジ袋が63.1%、透明・半透明袋が25.0%、麻袋が1.2%、重量ベースで容量表示のある袋が20.7%、レジ袋が50.7%、透明・半透明袋が27.2%、麻袋が1.4%です。

表 2-10　燃やさないごみの排出容器別のごみ重量と利用割合

		個数		重量		容器１個あたりの重量(kg/個)
		個数	割合	重量(kg)	割合	
	45ﾘｯﾄﾙ	9	10.7%	62.44	20.7%	6.94
	小計	9	10.7%	62.44	20.7%	6.94
レジ袋		53	63.1%	153.23	50.7%	2.89
透明・半透明袋		21	25.0%	82.26	27.2%	3.92
麻袋		1	1.2%	4.27	1.4%	4.27
合計		84	100.0%	302.20	100.0%	3.60

(注)各項目の合算値は四捨五入の関係上、合計値と合わないことがあります。
排出容器の平均重量は、バラで排出されたものは除いて算定しています。

(3) 容器包装プラスチック

容器包装プラスチックの排出容器の平均重量は0.32kgで、容量表示のある袋が0.59kg、レジ袋が0.22kg、透明・半透明袋が0.58kgです。利用割合は、個数ベースで容量表示のある袋が5.7%、レジ袋が73.0%、透明・半透明袋が21.4%、重量ベースで容量表示のある袋が10.6%、レジ袋が50.4%、透明・半透明袋が39.0%です。

表 2-11　容器包装プラスチックの排出容器別のごみ重量と利用割合

		個数		重量		容器１個あたりの重量(kg/個)
		個数	割合	重量(kg)	割合	
容量表示のある袋	30ﾘｯﾄﾙ	2	0.3%	0.61	0.3%	0.31
	45ﾘｯﾄﾙ	34	5.3%	20.73	10.3%	0.61
	小計	36	5.7%	21.34	10.6%	0.59
レジ袋		464	73.0%	101.29	50.4%	0.22
透明・半透明袋		136	21.4%	78.41	39.0%	0.58
合計		636	100.0%	201.04	100.0%	0.32

(注)各項目の合算値は四捨五入の関係上、合計値と合わないことがあります。
排出容器の平均重量は、バラで排出されたものは除いて算定しています。

４　反転コンテナ・角型容器１杯あたりの重量

燃やすごみと容器包装プラスチックについては、反転コンテナ１杯あたりの重量を、燃やさないごみについては角型容器１杯あたりの重量を測定しました。

燃やすごみの反転コンテナ１杯あたりの重量は70kgです。

燃やさないごみの角型容器１杯あたりの重量は17kgです。

容器包装プラスチックの反転コンテナ１杯あたりの重量は10kgです。

表 2-12　反転コンテナ及び角型容器１杯あたりの重量

ごみ種	地域	ごみ量	杯数	１杯あたり重量
		(kg)	(杯)	(kg/杯)
燃やすごみ（反転コンテナ）	東小岩	639.09	8.7	73
	平井	701.89	9.5	74
	南葛西	672.28	10.7	63
	合計	2,013.26	28.9	70
燃やさないごみ（角形容器）	合計	352.00	21.2	17
容器包装プラスチック（反転コンテナ）	東小岩	69.74	6.9	10
	平井	67.04	7.2	9
	南葛西	62.72	6.9	9
	合計	199.50	21.0	10

写真 2-1　反転コンテナ

写真 2-2　角型容器

５　小型家電の分析

使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律では、法律の対象となる「対象品目」と、対象品目のうち、市区町村・消費者が認定事業者に対して無償での引渡しが可能となる品目で、国が特にリサイクルをするべきと特定した「特定対象品目」が定められています。

(1) 燃やすごみ

特定対象品目は10個で0.49kg、特定対象品目以外の対象品目は４個で0.55kg、合計で14個、1.04kgが排出されました。

表 2-13　燃やすごみの特定対象品目の排出状況

大分類	品目	個数	重量 (kg)
音響機器	イヤホン・ヘッドフォン	6	0.26
懐中電灯、時計	時計	2	0.02
これらの付属品	ＡＣアダプター	1	0.11
	充電器	1	0.10
合計		10	0.49

表 2-14　燃やすごみの特定対象品目以外の対象品目の排出状況

大分類	品目	個数	重量 (kg)
台所用電気機械器具	ポット	1	0.55
付属品･その他	コード	3	0.06
合計		4	0.61

(2) 燃やさないごみ

特定対象品目は68個で26.19kg、特定対象品目以外の対象品目は88個で28.94kg、合計で156個、55.13kgが排出されました。

表2-15　燃やさないごみの特定対象品目の排出状況

大分類	品目	個数	重量 (kg)
情報通信機器	電話機	1	2.58
	ラジオ	1	0.65
	携帯電話	2	0.26
	ルーター	1	0.76
	ＰＣパーツ	1	1.72
録画記憶装置	ＤＶＤプレーヤー	2	0.41
音響機器	イヤホン・ヘッドフォン	3	0.39
	デジタルオーディオプレーヤー	1	0.22
電子血圧計、電子体温計	血圧計	1	0.58
理容･美容機器	ドライヤー	5	2.07
	電気かみそり	2	0.17
	ヘアアイロン	2	0.27
	電動歯ブラシ	1	0.03
	美顔器	1	0.20
懐中電灯、時計	時計	15	3.95
	懐中電灯	2	0.21
ゲーム機	据置ゲーム機・付属品	6	7.50
これらの付属品	ＡＣアダプター	11	2.41
	充電器	4	1.21
	リモコン	5	0.53
	マウス	1	0.07
合計		68	26.19

表2-16　燃やさないごみの特定対象品目以外の対象品目の排出状況

大分類	品目	個数	重量 (kg)
電気音響機械器具	スピーカー	1	0.18
	その他音響機器	1	0.21
台所用電気機械器具	ポット	3	5.65
	ホットプレート	3	3.02
	ビールサーバー	1	1.12
空調用電気機械器具	扇風機	2	2.27
	イオン発生器	1	0.11
保温用電気機械器具	電気あんか	1	0.55
園芸用電気機械器具	蚊取り機	1	0.19
電気照明器具	電灯	2	1.00
電子玩具及び電動式玩具	おもちゃ	1	0.10
付属品･その他	インターフォン	1	0.76
	テーブルタップ	2	0.33
	ブレーカー	1	0.09
	不明	3	0.08
	コード	64	13.28
合計		88	28.94

(3)容器包装プラスチック

特定対象品目は排出されませんでした。特定対象品目以外の対象品目においても、排出されたものはコードが１個で0.15kgでした。

表 2-17　容器包装プラスチックの特定対象品目以外の対象品目の排出状況

大分類	品目	個数	重量 (kg)
付属品･その他	コード	1	0.15
合計		1	0.15

第３章　食品ロスの廃棄状況

日本では、まだ食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」が年間で約632万トン発生していると推計されています。食品ロスを減らすため、本区では区民、事業者と一体となった「えどがわ食べきり推進運動」を展開しています。

本調査では、未開封の製品やそのまま廃棄された野菜や果物など手つかずの食品ロスを「未利用品」として、開封したもののすべて使い切らずに廃棄した食品ロスを「使い残し」として分類しました。また、「未利用品」については、品目、消費期限・賞味期限について調査しました。

一部のサンプルについて「食べ残し」を分類し、生ごみに占める「未利用品」「使い残し」「食べ残し」の割合と年間廃棄量を推計しました。

１　食品ロスの割合

燃やすごみの調査結果より、可燃ごみに占める割合は、「未利用品」が1.13％、「使い残し」が1.06％、「厨芥類(食べ残し含む)」が37.59％です。

一部のサンプルについて、「厨芥類(食べ残し含む)」について調査した「食べ残し」の割合は4.21％でした。これを「厨芥類(食べ残し含む)」に乗じて「食べ残し」の割合を推計しました。なお、過剰除去については判別が難しいため、今回の調査では「厨芥類（食べ残し含まない）」として分類しています。

燃やすごみに占める割合は、「食品ロス」全体で3.77％、内訳は「未利用品」が1.13％、「使い残し」が1.06％、「食べ残し」が1.58％です。

生ごみに占める割合は、「食品ロス」全体で9.47％、内訳は「未利用品」が2.84％、「使い残し」が2.65％、「食べ残し」が3.98％です。

表 3-1　食品ロスの割合の推計

	可燃ごみに占める割合	生ごみに占める割合
未利用品	1.13%	2.84%
使い残し	1.06%	2.65%
厨芥類（食べ残し含む）	37.59%	94.51%
合計	39.78%	100.00%

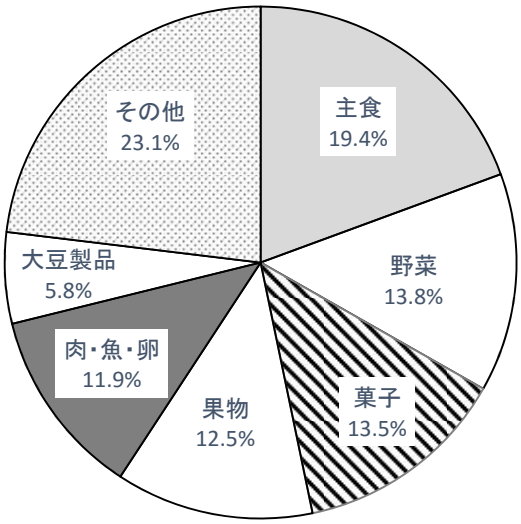
		可燃ごみに占める割合	生ごみに占める割合
食品ロス	未利用品	1.13%	2.84%
	使い残し	1.06%	2.65%
	食べ残し	1.58%	3.98%
	小計	3.77%	9.47%
厨芥類（食べ残し含まない）		36.01%	90.53%
合計		39.78%	100.00%

厨芥類（食べ残し含む）に占める「食べ残し」の割合4.21％で按分しました。

２　未利用品の品目

未利用品の品目は、主食（米・パン・麺類など）が最も多く19.4%、次いで野菜13.8%、菓子13.5%、果物12.5%などの順です。

図 3-1　未利用品の品目

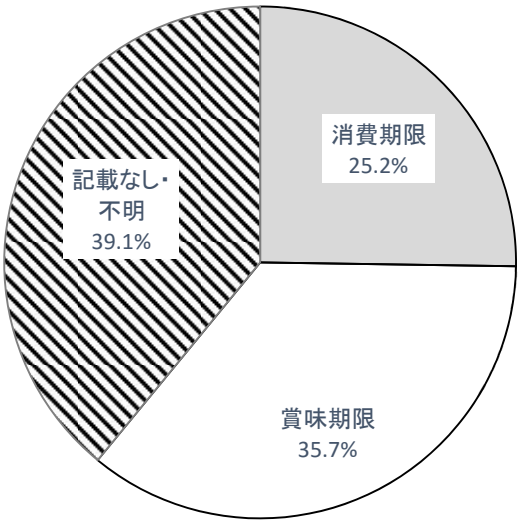


３　未利用品の消費期限・賞味期限

消費期限は「期限を過ぎたら食べない方がよい期限」のことです。一方、賞味期限は「おいしく食べることができる期限」のことで、この期限を過ぎても食べられないということはありません。

未利用品のうち、消費期限が記載されているものは25.2%、賞味期限が記載されているものは35.7%、記載なし・不明は39.1%です。

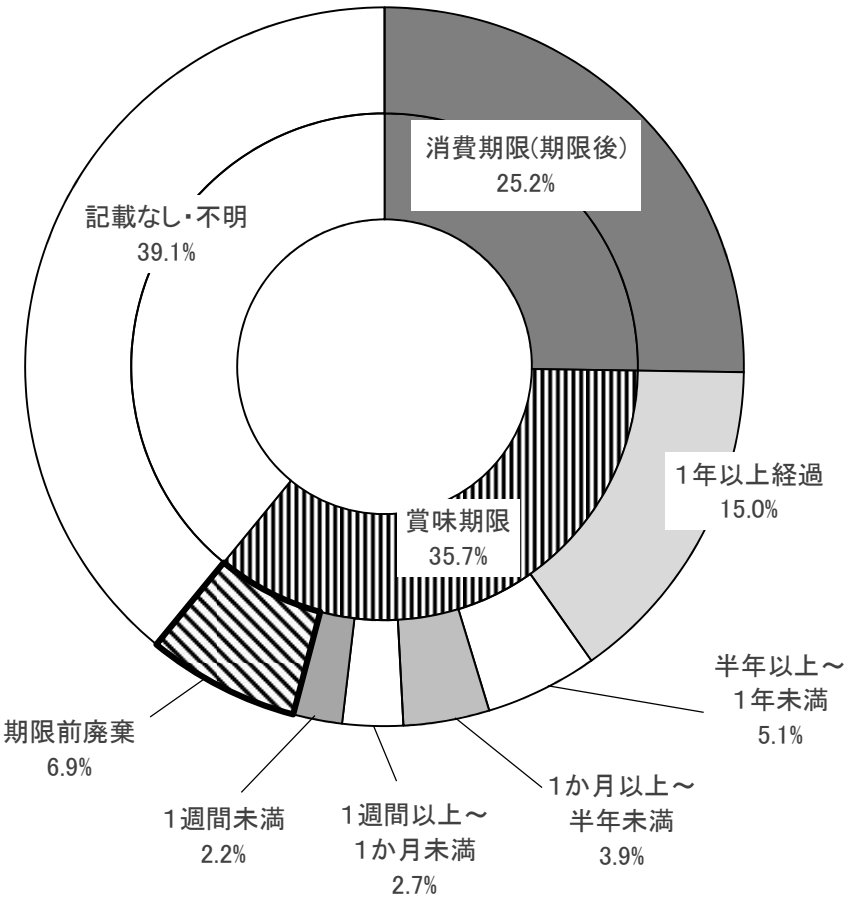
図 3-2　消費期限・賞味期限の記載割合



４　消費期限・賞味期限と廃棄日の比較

消費期限の記載のあるもので期限前に廃棄されたものはありませんでした。賞味期限の記載のあるもののうち、期限前に廃棄されたものは6.9%でした。

図 3-3　消費期限・賞味期限と廃棄日の比較



５　食品ロスの年間廃棄量の推計

燃やすごみの生ごみは48,721ｔ、うち「未利用品」が1,384ｔ、「使い残し」が1,293ｔ、「食べ残し」が1,938ｔと推計されます。

未利用食品のうち、消費期限が記載されているものは349ｔ、賞味期限が記載されているものは494ｔ、記載なし・不明は540ｔと推計されます。

消費期限が記載されているものは、すべて期限後の廃棄と推計されます。賞味期限が記載されているもののうち、期限前に廃棄されたものは95ｔと推計されます。

表 3-2　食品ロスの年間廃棄量の推計

				可燃ごみに占める割合	年間廃棄量推計(t/年)
食品ロス	未利用品	消費期限(期限後廃棄)		0.29%	349
		賞味期限	１年以上経過	0.17%	207
			半年以上～１年未満	0.06%	70
			１か月以上～半年未満	0.04%	54
			１週間以上～１か月未満	0.03%	38
			１週間未満	0.02%	30
			期限前廃棄	0.08%	95
			小計	0.40%	494
		記載なし・不明		0.44%	540
		小計		1.13%	1,384
	使い残し			1.06%	1,293
	食べ残し			1.58%	1,938
	小計			3.77%	4,615
厨芥類（食べ残し含まない）				36.01%	44,106
合計				39.78%	48,721

第４章　考察

１　過去の調査との比較

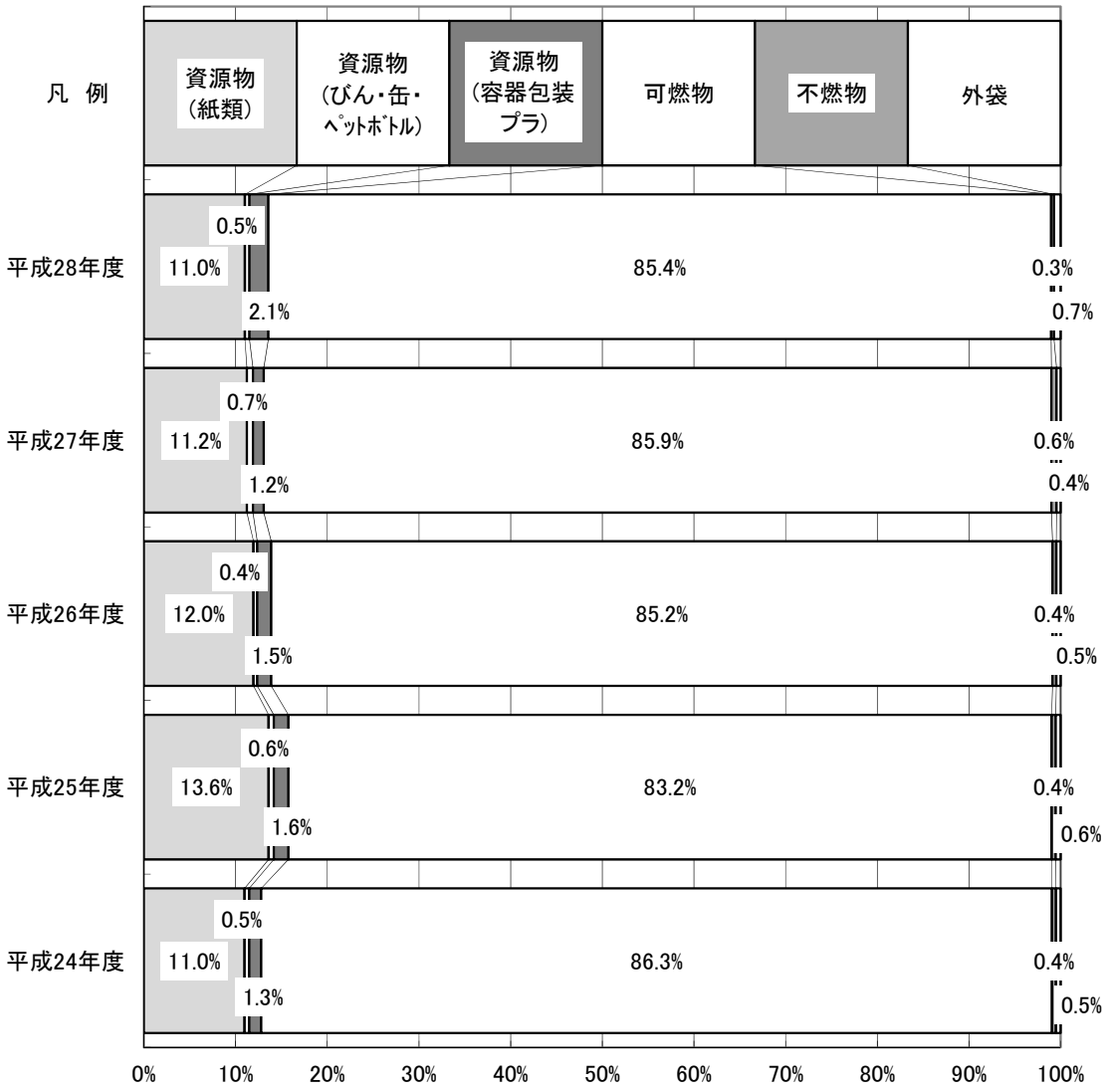
分別区分ごとの過去の調査との比較を示します。なお、文中の矢印を含む数値は、平成24年度→平成25年度→平成26年度→平成27年度→平成28年度(今回)を示しています。

(1) 燃やすごみ

燃やすごみの過去の調査との比較を示しました。可燃物は、86.3%→83.2%→85.2%→85.9%→85.4%で推移しています。

リサイクル可能な資源物(紙類)は、11.0%→13.6%→12.0%→11.2%→11.0%で、資源物(容器包装プラスチック)は1.3%→1.6%→1.5%→1.2%→2.1%で推移しています。

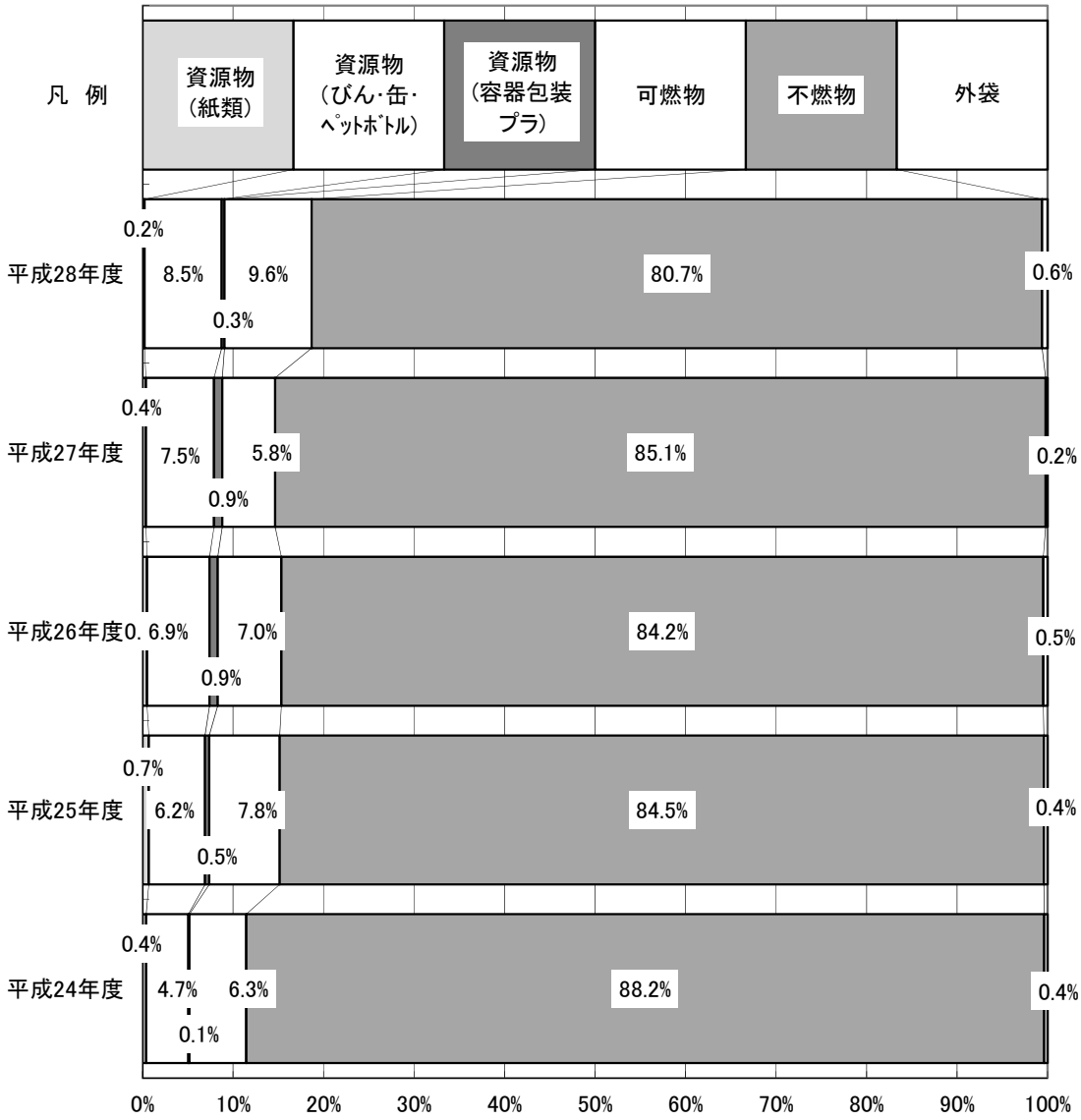
図 4-1　燃やすごみの過去の調査との比較



(2) 燃やさないごみ

燃やさないごみの過去の調査との比較を示しました。不燃物は88.2%→84.5%→84.2%→85.1%→80.7%で、可燃物は6.3%→7.8%→7.0%→5.8%→9.6%で推移しています。

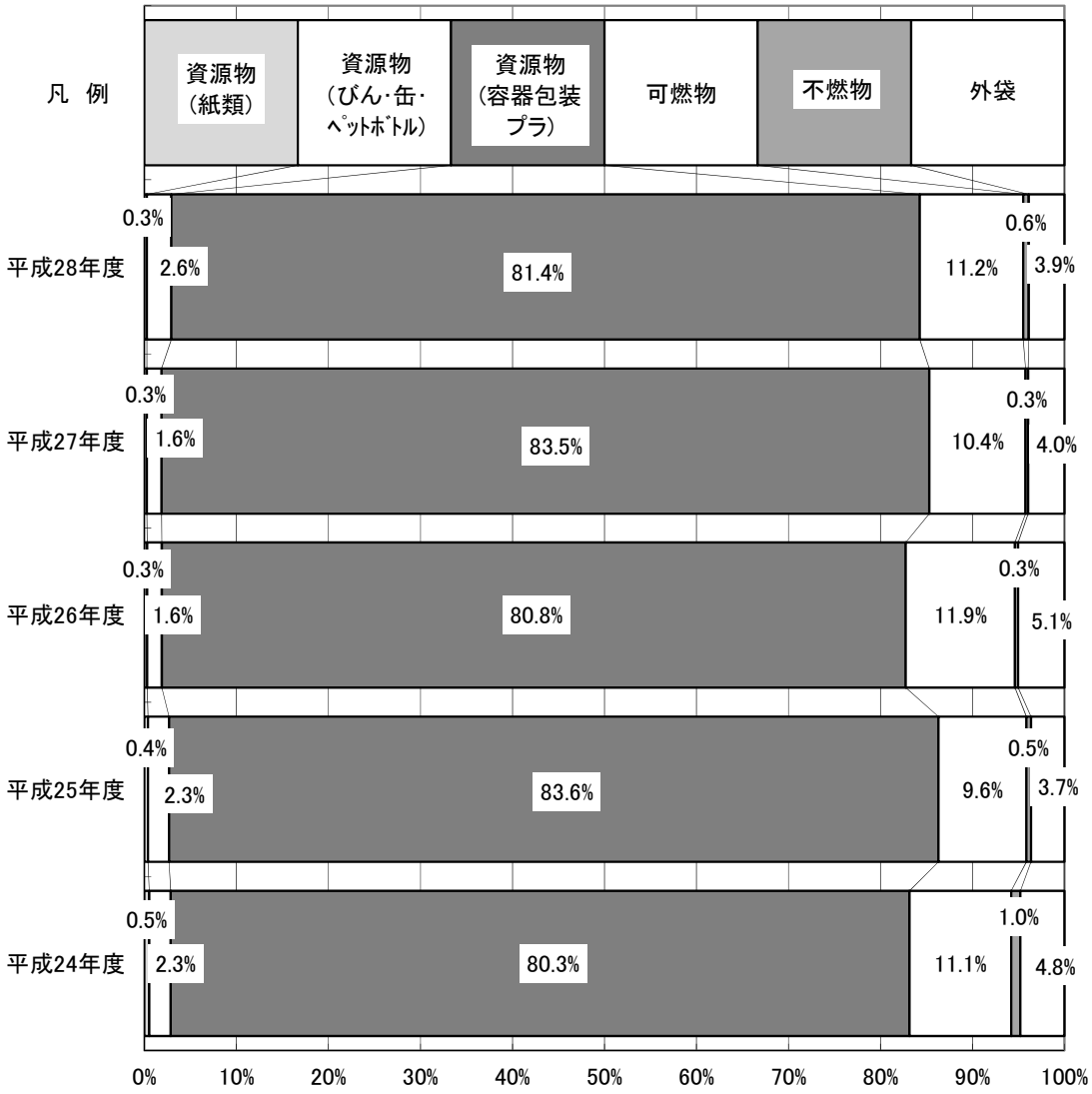
図 4-2　燃やさないごみの過去の調査との比較



(3)容器包装プラスチック

容器包装プラスチックの過去の調査との比較を示しました。資源物(容器包装プラスチック)は80.3%→83.6%→80.8%→83.5%→81.4%で推移しています。資源物(びん・缶・ペットボトル)は2.3%→2.3%→1.6%→1.6%→2.6%で、可燃物は11.1%→9.6%→11.9%→10.4%→11.2%で推移しています。

図 4-3　容器包装プラスチックの組成の過去の調査との比較



２　ごみ減量の可能性

平成27年度及び平成28年度前半のごみ量から平成28年度のごみ量を推計しました。平成28年度のごみ量は、燃やすごみが122,488ｔ、燃やさないごみが2,781ｔと推計されます。

表 4-1　平成 28 年度のごみ量推計

単位(t/年)

	実績値				推計値
	H28前半	H27前半	H27後半	H27合計	H28全体
	A	B	C	D=B+C	E=A×D÷B
燃やすごみ	61,864.41	62,086.59	60,841.00	122,927.59	122,488
燃やさないごみ	1,399.79	2,380.10	2,349.01	4,729.11	2,781

これに、分別区分ごとの組成割合を乗じることで、燃やすごみと燃やさないごみに含まれている、資源物と将来の資源化施策によって資源化が可能になると思われる潜在的な資源物［容器包装プラスチック(落とせる汚れ)、小型家電、その他金属］の量を推計しました。

資源物は、燃やすごみには16,624ｔ(13.6%)、燃やさないごみには252ｔ(9.0%)、合計で16,876ｔ(13.5%)含まれています。内訳は、容器包装紙類が3,315ｔ(2.7%)、その他紙類が4,170ｔ(3.4%)で、いわゆる雑紙(ざつがみ)が約４割を占めています。紙類全体では13,503ｔ(11.0%)です。

潜在的な資源物は、燃やすごみに4,705ｔ(3.8%)、燃やさないごみには1,117ｔ(40.2%)、合計で5,823ｔ(4.6%)含まれています。内訳は、容器包装プラスチック(落とせる汚れ)が4,402ｔ(3.5%)、小型家電が502ｔ(0.4%)、その他金属が918ｔ(0.7%)です。

表 4-2　平成 28 年度の品目別のごみ量推計

大分類	中分類	小分類	組成割合(%)		推計量(t/年)			
			燃やすごみ	燃やさないごみ	燃やすごみ	燃やさないごみ	合計	
資源物	紙類	新聞（きれいな状態）	0.8%	0.0%	939	0	939	(0.7%)
		折込広告	0.5%	0.0%	603	0	603	(0.5%)
		雑誌・本	2.6%	0.0%	3,124	0	3,124	(2.5%)
		段ボール	0.8%	0.1%	927	4	930	(0.7%)
		紙パック	0.3%	0.0%	426	0	426	(0.3%)
		容器包装紙類（リサイクル可）	2.7%	0.1%	3,315	2	3,317	(2.6%)
		その他紙類（リサイクル可）	3.4%	0.0%	4,170	0	4,170	(3.3%)
	びん・缶・ペットボトル	リターナブルびん	0.0%	0.3%	0	8	8	(0.0%)
		ワンウェイびん	0.1%	6.2%	125	172	297	(0.2%)
		飲用・食用スチール缶	0.0%	1.7%	23	47	70	(0.1%)
		飲用・食用アルミ缶	0.0%	0.3%	43	8	51	(0.0%)
		ペットボトル	0.3%	0.1%	409	2	412	(0.3%)
	容器包装プラスチック	食品トレイ	0.2%	0.0%	303	0	303	(0.2%)
		ボトル容器	0.2%	0.2%	299	5	304	(0.2%)
		カップ・パック容器	0.4%	0.0%	537	1	538	(0.4%)
		レジ袋（中身なし）	0.3%	0.0%	389	1	391	(0.3%)
		キャップ類	0.1%	0.0%	62	0	62	(0.0%)
		フィルム容器	0.7%	0.0%	868	1	870	(0.7%)
		保護材	0.1%	0.0%	63	0	63	(0.1%)
可燃物	紙類	新聞（汚れた状態）	0.6%	0.3%	685	9	694	(0.6%)
		容器包装紙類（リサイクル不可）	0.9%	0.0%	1,095	0	1,095	(0.9%)
		その他紙類（リサイクル不可）	16.7%	0.4%	20,450	11	20,461	(16.3%)
	布類		5.8%	0.0%	7,114	0	7,114	(5.7%)
	生ごみ	生ごみ（未利用品）	1.1%	0.1%	1,384	2	1,385	(1.1%)
		生ごみ（使い残し）	1.1%	0.2%	1,293	7	1,300	(1.0%)
		生ごみ（厨芥類）	37.6%	0.2%	46,044	5	46,049	(36.8%)
	木・草類		4.6%	0.2%	5,659	6	5,665	(4.5%)
	プラスチック・ゴム・皮革類	チューブ容器	0.1%	0.0%	167	1	167	(0.1%)
		レジ袋（中身あり）	0.5%	0.2%	619	4	624	(0.5%)
		容器包装プラスチック（アルミ蒸着）	0.6%	0.1%	750	4	753	(0.6%)
		容器包装プラスチック（落とせる汚れ）	3.6%	－	4,402	－	4,402	(3.5%)
		容器包装プラスチック（落とせない汚れ）	1.6%	0.1%	1,937	4	1,941	(1.5%)
		製品プラスチック類	2.4%	5.4%	2,902	150	3,052	(2.4%)
		ゴム・皮革類	1.2%	2.1%	1,513	57	1,570	(1.3%)
	その他可燃物	医療系	0.0%	0.0%	0	0	0	(0.0%)
		その他可燃物	7.0%	0.3%	8,588	8	8,596	(6.9%)
不燃物	有害・危険物	スプレー缶等	0.0%	4.6%	16	127	143	(0.1%)
		乾電池	0.0%	3.0%	9	84	92	(0.1%)
		蛍光管	0.0%	0.7%	0	20	20	(0.0%)
		ライター	0.0%	0.3%	4	8	11	(0.0%)
		水銀含有物	0.0%	0.0%	0	0	0	(0.0%)
	小型家電		0.1%	15.7%	67	436	502	(0.4%)
	その他不燃物	その他金属	0.2%	24.5%	236	682	918	(0.7%)
		その他不燃物	0.0%	32.0%	40	889	929	(0.7%)
外袋		プラスチック袋	0.4%	0.2%	509	6	514	(0.4%)
		レジ袋	0.2%	0.4%	305	11	316	(0.3%)
		紙袋	0.1%	0.0%	77	0	77	(0.1%)
合計			100.0%	100.0%	122,488	2,781	125,269	(100.0%)

資源物	紙類	11.0%	0.2%	13,503	6	13,509	(10.8%)
	びん・缶・ペットボトル	0.5%	8.5%	600	237	837	(0.7%)
	容器包装プラスチック	2.1%	0.3%	2,521	9	2,530	(2.0%)
	合計	13.6%	9.0%	16,624	252	16,876	(13.5%)
潜在的な資源物	容器包装プラスチック（落とせる汚れ）	3.6%	－	4,402	－	4,402	(3.5%)
	小型家電	0.1%	15.7%	67	436	502	(0.4%)
	その他金属	0.2%	24.5%	236	682	918	(0.7%)
	合計	3.8%	40.2%	4,705	1,117	5,823	(4.6%)

３　今後の課題

Edogawaごみダイエットプラン(江戸川区一般廃棄物処理基本計画)では、平成33年度の目標値として、平成12年度比でごみ量20％削減、区民一人1日あたりのごみ量649(ｇ/人・日)、資源回収率30％を設定しています。

平成28年度前半(4月～9月)のごみ量は平成27年度前半と比べて、燃やすごみは0.4％減少しています。人口が増加しているにもかかわらず、ごみ量が横ばいあるいは減少しているのは、区民のごみ減量への意識が向上し、発生抑制や分別収集への協力が進んだ結果と考えられます。また、不燃ごみからのピックアップ回収によって、燃やさないごみは41.2％減少しています。今後も、ダイエットプランの目標値を達成するためには、さらなる取り組みが必要です。

前年度調査と比較して、燃やすごみ、燃やさないごみ、容器包装プラスチックの分別は少し悪くなっています。

ごみの中には、資源物が16,876ｔ(13.5％)、将来の資源化施策によって資源化が可能になると思われる潜在的な資源物が5,823ｔ(4.6％)含まれていると推計されますので、さらなるごみ減量を推進するためには、次のような取り組みが必要です。

○生ごみの減量

燃やすごみに占める生ごみの割合は、調査開始以来、初めて40%を切りました。未利用食品がおよそ半減されるなどにより27年度と比べ6.3ポイント、約8,000ｔ減少しています。しかし、「未利用」「使い残し」「食べ残し」の食品ロスが4,615t、それ以外の生ごみが44,106t含まれていますので、引き続き、食べきり推進運動を通じた食品ロスの削減やごみ排出時の水切りなど、区民によるごみの発生を抑制する取り組みを促進させていくことが必要です。

○雑紙（ざつがみ）の分別の徹底

燃やすごみに含まれる資源物の大半は紙類で13,503ｔ、そのうち、雑紙（ざつがみ）が7,485ｔ、雑誌・本が3,124ｔです。新聞、段ボールなどはほとんどがリサイクルされていると考えられますが、雑紙（ざつがみ）は多くがごみとして捨てられていると考えられます。雑紙（ざつがみ）をリサイクルするための仕組みや普及啓発活動について検討する必要があります。

○容器包装プラスチックの分別の徹底と質の向上

燃やすごみには、容器包装プラスチック（きれいなもの）が2,521ｔ、容器包装プラスチック（落とせる汚れ）が4,402ｔ、合計で6,923ｔ含まれています。一方、容器包装プラスチックの分別収集量は年々減少あるいは横ばいで推移しており、平成27年度で2,632ｔとなっています。少しの手間をかけるだけで資源として排出することができる容器包装プラスチックが分別収集量の約2.6倍も排出されていることになりますので、分別収集を促進する普及啓発活動が必要です。

○燃やさないごみからのピックアップ回収

燃やさないごみは、小型家電や金属などのピックアップ回収の開始により40.2%減少したと推計されます。

江戸川区家庭ごみ組成分析調査報告書

平成29年3月発行

江戸川区環境部清掃課
〒132-8501　江戸川区中央1－4－1
TEL 5662-8434(直)